

NEWS RELEASE

欧州で2台目の受注、2020年度にグローバルで25億円を目指す
ルーマニアの国際空港向け晴天時風観測用「空港気象ドップラーライダー」を受注

三菱電機株式会社は、ルーマニア航空局から、首都ブカレストにあるアンリ・コアンダ国際空港向けに晴天時風観測用「空港気象ドップラーライダー（DIABREZZA®（ダイヤブレツツア）Aシリーズ）」を、現地システムインテグレーターである CENTRUL PENTRU SERVICII DE RADIOCOMUNICATII SRL.を通じて受注しましたのでお知らせします。2019年度末に納入する予定です。

今回の受注は、昨年7月にフランス気象局から受注したニース・コート・ダジュール国際空港向けに続く欧州で2台目の受注で、国内・海外全体では10台目の受注となります。当社は今後、欧州を含む海外での事業展開を強化し、「空港気象ドップラーライダー」を含む気象レーダー・ライダー事業全体で、2020年度にグローバルで売上高25億円を目指します。



スキャナー部

寸法	幅2.6×高さ2.2×奥行1.9m
重さ	2トン以下

「空港気象ドップラーライダー」外観

「空港気象ドップラーライダー」の特長

航空機の離着陸時に乱気流による事故防止のためには、空港周辺の風速や風向きを測定する必要がありますが、従来の電波を用いるレーダー装置（空港気象ドップラーレーダー）では、雨滴や雲のない晴天時は測定ができませんでした。今回受注した「空港気象ドップラーライダー」は、單一周波数のパルスレーザーを用いて大気中のちりや微粒子の動きを捉えることで、晴天時でも風速や風向きをリアルタイムに測定できます。また、高出力光アンプの搭載により、20km以上の風計測を実現するとともに、ICAO^{※1}推奨要件に基づいた観測距離を十分に満たしています。

※1 International Civil Aviation Organization（国際民間航空機関）

国際民間航空に関する原則と技術を開発・制定し、その健全な発達を目的とする国際連合経済社会理事会の専門機関

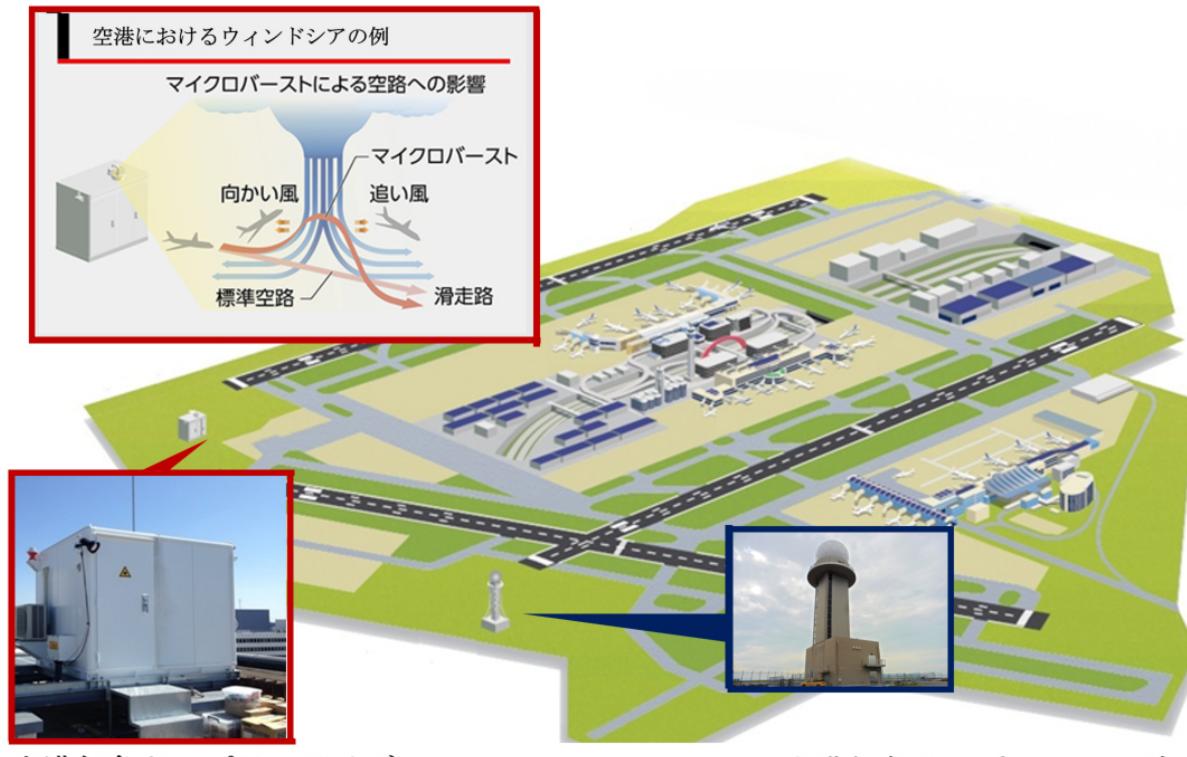
受注の背景

アンリ・コアンダ国際空港では、航空機のより安全な離着陸のために、晴天時の乱気流検出用にドップラーライダーの導入が検討されていました。

当社が、2015年度から販売を開始した晴天時風観測用「空港気象ドップラーライダー」は、現在までに国内外の空港で計6台が運用中であり、これらの納入実績と高い品質が評価され、今回の受注にいたりました。

「空港気象ドップラーライダー」の納入実績

納入先	納入年度	納入台数
東京国際空港(羽田)	2015	1
成田国際空港	2016	1
香港国際空港(中国)	2016	2
東京国際空港(羽田)	2017	1
アンタルヤ国際空港(トルコ)	2018	1
関西国際空港	2018	1
北京大興国際空港(中国)	2019(予定)	1
ニース・コート・ダジュール国際空港(フランス)	2019(予定)	1
アンリ・コアンド国際空港(ルーマニア)	2019(予定)	1

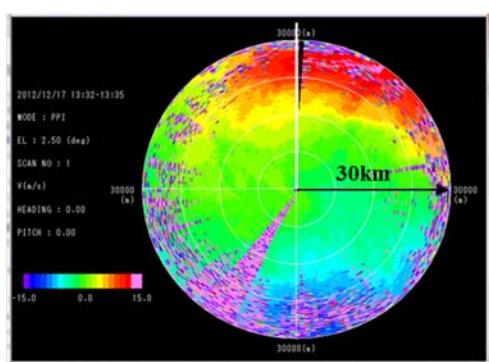


空港気象ドップラーライダー
“晴天時(無降雨時)”にウィンドシア※2を検出

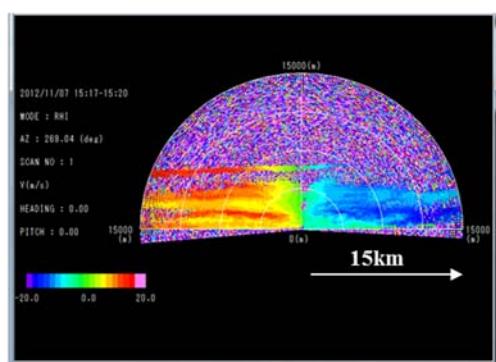
※2 風向風速の急変

空港気象ドップラーレーダー
“降雨時”にウィンドシアを検出

図1：「空港気象ドップラーライダー」の運用イメージ図



<水平方向(PPI)観測>



<垂直方向(RHI)観測>

図2：観測データサンプル

商標関連

DIABREZZA は、三菱電機株式会社の登録商標です。

製品担当

三菱電機株式会社 通信機製作所
〒661-8661 兵庫県尼崎市塚口本町八丁目 1 番 1 号

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 統合センサシステム営業第一部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-3218-3346 FAX 03-3218-9492

三菱電機 ドップラーライダーシステム HP
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/lidar/>